

情報電子オプティクス実験 B

2025 年度 前期

宇都宮大学 工学部 基盤工学科 情報電子オプティクスコース

1. 目的

計算機のハードウェア、アーキテクチャ、ネットワークについて、講義で学んだことを実際に確かめることによって、知識を確実なものとし、計算機とその周辺装置を設計する基礎を身につけることを目的とする。

2. 実験テーマ・担当者

テーマ名	担当
(1) マイクロプログラミング	大津（講義） 北本（実験）
(2) メモリインタフェースの製作	熊谷
(3) HDLによるハードウェア設計	鶴田
(4) ネットワーク実験	森

全体 月川 加治原

TA（大学院生）

マイクロプログラミング	全員
HDLによるハードウェア設計	遠藤 荻村 加藤 釜井
メモリインタフェースの製作	大河原 近藤 塚野 本谷
ネットワーク実験	西田 齋藤 荒井 廣谷

情報工学実験室 電話番号 689-6291
ネットワーク実験室 電話番号 689-6295

本実験の Web ページを下記のアドレスにて用意しているので参照すること。

<http://www.ced.is.utsunomiya-u.ac.jp/lecture/2025/jikkenb/>

3. 実施方法と班分け

- (1) 最初のテーマ「マイクロプログラミング」は第 1 回から第 6 回の授業にて全体で実施する。
これ以外のテーマは第 7 回以降の授業で実施し、3 グループに分かれて 3 つのテーマをそれぞれ 3 回ずつローテーションで実施する。
- (2) 1 班 4 ないし 5 名、1 テーマ 7 班、計 21 班。
- (3) 班分けは、C-learning に登録した学生の一覧に基づいて決定し、掲示する。

4. 出欠

- (1) 単位取得のためには、全回出席すること、および、授業中に課せられたすべてのレポートが受理されることが必要である。無断欠席は認めない。正当な理由があつてやむをえず欠席した場合は、別途考慮する。前記の条件を満たしたのに対し、レポート内容、レポート提出状況、授業態度等を総合して評価を行う。
- (2) 病気やケガなど、正当な理由があつてやむをえず欠席する場合には、事前に必ず担当教員に連絡すること。再実験などについて担当教員から指示される。担当者には C-learning で連絡する。

こと。その際は、どの教員に宛てた連絡であるのかを明記すること。また、欠席などの正当な理由を担当者に連絡する際に、証明書等が必要になる場合がある。

- (3) レポート提出の遅れは、成績評価の際に減点の対象となる。レポート提出の遅れによる減点は、遅れ日数に伴って増加するので、提出期限を必ず守ること。

5. レポート

- (1) レポートの提出期限は、原則として各実験が終了した日の翌週の水曜日とする。**提出先および提出締め切り時間は、各担当教員が指定する。**なお、実験テーマによっては担当教員が提出日時を指定することがあるので、その際は担当教員に従うこと。
- (2) レポートは、「課題内容を理解し、分かりやすく説明されているか」等を総合して評価を行う。レポートの内容から、課題についての理解が不十分と判断された場合には、別途、口頭試問またはペーパーテストが課され、成績評価が決定される。
- (3) レポートには、以下の2点が必要である。
- ① レポートの書式を満足している。
 - ② 必要事項がもれなく記載されている。
- (4) レポートは、レポート提出期限までに完成させて提出すること。ただし、書式の不備に関しては、書式修正期限までに、1回だけレポートを修正できる。なお、書式の修正時に、内容の大幅加筆・改変があった場合には、レポート提出期限からの遅延として扱われ、減点の対象となるので注意すること。
- (5) 過去および知人のレポートのコピー&ペースト、またはWEBサイト等からの不適切な引用が発覚した場合は、それを実行した者・実行させた者を問わず、厳格に処罰するので絶対にしないこと。
- (6) 本授業では自力でレポートを作成する能力を育むことも目的としているので、ChatGPT等の生成AIで作成された文章等を書き写してレポートを作成することは生成AIの不適切な利用とみなす。
参考：「ChatGPT等生成AIの修学上での利用について」
(大学ホームページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/docs/20230428chatgpt.pdf> に掲載)
- (7) 単位修得にはすべてのレポートが受理され、レポートの評価で合格することが必要である。一つでも合格していないレポートがある場合は「不可」となる。

6. 一般的注意事項

- (1) 授業前に資料をよく読み、すぐに実験を始められるようにしておくこと。
- (2) 器具や素子を壊した場合には、直ちに担当者に申し出ること。報告を怠ると、以後の実験に差し支え、後の班が迷惑する。
- (3) 対面で行う場合の実験は、実験時間以内（月曜日：14:20～17:30、水曜日：12:40～15:50）に終わること。終わらない場合には、担当教員にその旨報告し、指示をうけること。
- (4) 実験準備室には無断で入らないこと。
- (5) 実験室及びネットワーク実験室内での飲食は禁止。
- (6) 実験終了後は配線等を外して実験台の上を整理すること。また、実験室の掃除をしてもらう。
- (7) テーマ毎の注意事項についてはWebClassを通じて行う。